

● 図書館員の文献紹介と資料の活用 ●

本学図書館のスペシャル・コレクションより (63)
 ロシア海軍のゴロヴニンとリコルドの著作が
 『遭厄日本紀事』になった話
 _____ 奥 正敬 20～23

映画史に残る不朽の名作
 本学図書館の所蔵本から (8)
 _____ 吉田明弘 24

日本の歴史64
 『らくいちらくぎ楽市楽座はあったのか』
 _____ 稲垣宏行 25

文献紹介 (10)
 中国史いろいろ
 知っているようで知らない『西遊記』一行
 _____ 戸田奈緒子 26

孤独な未亡人
 _____ 田端里美 27

「とき」の書物 Keeping up-to-date
 Regarding 2020 United States Presidential Election
 ～2020年アメリカ合衆国大統領選挙～
 _____ 滝澤摩耶 28～29

Book Review Corner _____ 30～31

● 図書館利用案内 ●

ライブラリー・カレンダー
 2021 (1月～3月) _____ 32



The Japanese months with illustrations.
 2nd ed. Tokyo, 1895. 2 vols.

岡田松生
 『日本の一年』
 第2版 東京 1895(明治二十八年) 2巻本

本書は「ちりめん本」です。ちりめん本とは印刷された和紙を圧縮して縮緬状に加工し、和綴り形式の書物に整え、明治期に多く刊行されたものです。当時の在日欧米人が日本の伝説やおとぎ話、あるいは風俗・習慣を翻訳し、日本人絵師による挿絵が色を添える形態で、英語をはじめ様々な言語で出版され、海外でも大変人気を博しました。

本書は、1月から12月までの日本人の生活を英語で紹介したもので、半年分ずつの2巻本となっています。

今号の表紙を飾った挿絵は、第一巻の冒頭にある1月を取り上げたもので、正月の行事が詳細に書かれています。凧を手をしている子どもたちや、門松が飾られた民家の前を人力車が通り、和服姿の女性が羽子板で遊ぶ場面が描かれており、三河漫才師や獅子舞の姿も見られます。

著者の岡田松生(1858-1939)は熊本洋学校出身で、熊本県政や中央官庁でも活躍し、英語が堪能だったとされる人物です。また、今回紹介したお正月の楽しい光景を鮮やかに描いた挿絵師は、本書中に記載はありませんが、落款(らっかん: 書画に筆者が記す署名捺印のこと)により明治時代の浮世絵師小林清親(1847-1915)とされています。